

【市川グローバルクラブ 2,469 枚の「服のチカラ」をウクライナに】

向小学校と旭町小学校とのコラボを果たした市川グローバルクラブ(IGC)。

『届けよう、服のチカラ』プロジェクト』として、両小学校で回収した子ども服を、先月 25 日に、旭町小学校の皆さんと仕分け作業を行いました。小学生と高校生が大量の子ども服の山を前に楽しくお喋りしながら、「半袖・半ズボンの子ども服」「長袖・長ズボンの子ども服」「ベビー服」の 3 種類に仕分けしていきました。

回収した子ども服の総数、2,469 枚！

特大段ボール 22 箱分にもなる枚数が集まりました。

最後は IGC メンバーで梱包、集荷票の貼り付け作業を終え、11 月 30 日(水)にファーストリテイリング社に送付いたしました。今後、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)を通して、ウクライナの避難民のもとに届けられることになっています。

小学生、IGC メンバー双方から、これからも何か一緒にできることを探していけたらいいねとの声が上がりました。今回のコラボレーションをきっかけに、新たな「小高連携」のカタチをこれからも模索していきたいとの思いを新たにするとともに、この 2,469 枚の子ども服がウクライナの子どもたちの「チカラ」になることを願ってやみません。



まずは集めた子ども服を一旦、全てひとつにまとめます



服をたんで仕分けして…

お喋りしながら、小学生とのジェネレーションギャップ話に身悶える IGC メンバーも (いつもはおじさんたち側が感じるギャップに、共感していたような?!)

全ての子ども服が詰められた全 22 箱の前にて

「2469！」の腕文字、見えますか?!

ウクライナの子どもたちのもとに無事届きますように…!

